

2018.7
No. 40



佐賀大学病院ニュース

患者・医療人に選ばれる病院を目指して *News & View*

〒849-8501 佐賀市鍋島五丁目1番1号

TEL 0952-31-6511(代)

病院ホームページ <http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/>

新しい総合外来でお待ちしています！



総合診療部
副部長 多胡 雅毅

平成30年4月より、病院再整備計画に基づき総合外来の場所が変更となりました。旧外来は正面玄関を入って右手にありましたが、新外来は正面の旧薬剤部跡に位置しています。完成したばかりの広く、明るく、清潔なスペースで外来診療を行っています。

総合外来では、紹介状の有無にかかわらず、どのような健康問題にも対処するという基本姿勢で診療を行っています。状態が悪ければ、総合診療部での入院も可能です。また、急病などでの午後からの受診にも

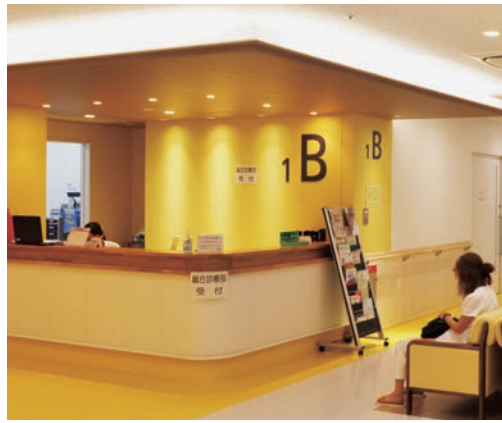
対応しています。患者さん自身が何科を受診してよいかわからない、色々な場所で相談したけれど診断がつかない、何かの病気ではないかと不安だ、とにかく症状のことを誰かに相談したい等、どのような患者さんのニーズに対しても、丁寧に診療と説明を行い、問題解決の手助けをいたします。



▲待合室前の中庭アート



▲診察室



▲受付



▲待合室

副病院長 就任挨拶



卒後臨床研修担当
安西 慶三

平成30年4月1日付けで卒後臨床研修担当副病院長を拝命しました。これまでは病院長特別補佐として職員の皆様の業務の見直し、外来や病棟の運営に携わってまいりました。今回の卒後臨床研修担当の役割は病院長の根幹である良き医師を育てる非常に大切な役割です。医師の育成は指導医の先生方はもちろんスタッフの皆様のご支援が必要です。患者さんを全人的に診る医師を病院全体で育成した

と思っています。また、入院予約時及び入院当日に入院の案内や説明を行うメディアカルサポートセンターのセンター長も担当しています。入院に際してお困りの際はメディアカルサポートセンターにお尋ねください。皆様が安心して入院生活が送れますようにスタッフ一同努めてまいります。皆様のご支援とご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

肝がんのない佐賀県へ！肝疾患センターの活動！



肝疾患センター長
江口有一郎

本院は厚生労働省から佐賀県で唯一の肝疾患診療連携拠点病院に指定され、その実務部門として肝疾患センターが院内に設置されています。当センターは平成24年に佐賀県と佐賀大学の協定により佐賀県全体の肝がん対策を行うために設立され、全国初の官学一体の地域全体での肝がん対策の取り組みは「佐賀モデル」として全国から注目いただいています。当センターは佐賀県健康福祉部健康増進課と常に連携して県内医療機関や市町等で具体的な

肝がん対策のための分析や支援をはじめ肝炎医療コーディネーターの養成とスキルアップを行い、佐賀県の肝がん死亡率低下を目標に日夜取り組み、本院肝臓・糖尿病・内分泌内科と一体となり診療に取り組んでいます。また、一般の方や患者さんからの肝疾患全般のいかなるご相談も肝臓専門医や肝炎医療コーディネーターが親身になつてお受けしていますので、当センターの肝臓なんでも相談窓口0952-34-3731にお気軽に電話ください。



▲マスコットキャラクター「肝ちゃん」

ダ・ヴィンチ (da Vinci) 手術の保険適用が広がりました！



一般・消化器外科
診療科長 能城 浩和

ダ・ヴィンチとはアメリカで開発された最新鋭の内視鏡手術支援ロボットです。日本では2009年に医療機器として認可を受けています。本院では、2010年3月、国立大学では初めて da Vinci S (第3世代) を導入し、消化器手術を中心に積極的に取り組んできました。全国的に見ても、最先端の治療ができる数少ない施設のひとつです。2012年4月、前立腺癌に対する手術が保険診療として認められていましたが、2018年4月診療報酬改定により、保険診療として認められています。



▶ダ・ヴィンチ手術の様子



保険導入を行うロボット支援下内視鏡手術

- 1 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術
- 2 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術
- 3 胸腔鏡下悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)
- 4 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術
- 5 胸腔鏡下弁形成術
- 6 腹腔鏡下胃切除術
- 7 腹腔鏡下噴門側胃切除術
- 8 腹腔鏡下胃全摘術
- 9 腹腔鏡下直腸切除・切断術
- 10 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 11 腹腔鏡下腔式子宮全摘術
- 12 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がんに限る。)

(平成30年度診療報酬改定)

お問い合わせ先：医事課 (0952-34-3143)

新しい総合外来でお待ちしています！ 多胡 雅毅

副病院長就任挨拶

安西 慶三

肝がんのない佐賀県へ！肝疾患センターの活動！

江口有一郎

ダ・ヴィンチ (da Vinci) 手術の保険適用が広がりました！

能城 浩和

能城 浩和

診療科紹介 呼吸器外科



診療科長
平塚 昌文

我々呼吸器外科は、本年の4月よりスタッフが大幅に変更となりました。呼吸器外科分野では九州一の症例数を誇る福岡大病院より赴任し、7月に呼吸器外科診療科長に就任いたしました。山本耕三助教大庭大治助教、堀晋一朗医員の4人体制で診療を行っております。我々が担当している分野は、肺、胸壁、縦隔、胸膜、横隔膜などの呼吸器外科領域全般を対象としています。肺では腫瘍性病変(悪性、良性)・転移性肺腫瘍・炎症性肺疾患、また気胸・囊胞性肺疾患・悪性胸膜中皮腫・膿胸などの胸膜疾患、縦隔疾患の診断から治療に至るまで幅広く対応しています。

現在肺癌は年間約13万人が罹患、7万人以上が死亡する癌の中でも最も死亡数が多い疾患です。我々はその治療成績を向上させるべく呼吸器内科、外科が連携を取り放射線科、病理を含めた集学的治療を目指しております。また悪性腫瘍や良性気道狭窄に硬性鏡を駆使した気道インターベンション(ステント治療)も行っています。気道狭窄は窒息と背中合わせの非常に重篤な状態ですが、対応可能な施設が少なく、窒息の恐怖に苦しむ患者さんの最後の砦となれるよう努力していきたいと思っております。

また手術に関しては胸腔鏡手術を積極的に導入し、患者さんの負担を少なくし、早期の社会復帰を可能としています。

呼吸器外科領域の最近の話題は、肺癌、縦隔腫瘍に対する手術支援ロボットが2018年4月より保険適応となりました。ロボット手術はこれまでの胸腔鏡手術の短所を補い、3次元の視野と胸腔内で手関節以上に動く関節を持つ鉗子を有し、自然な方向での剥離、切離、縫合操作を可能とし、より精度の高い、低侵襲の手術を目指すことができます。手術支援ロボットはすでに、泌尿器や消化器外科で臨床使用されておりますが、今後は呼吸器外科領域に手術支援ロボットを導入すべく準備を進めていきたいと思っております。



▲呼吸器外科スタッフ

4月採用看護師紹介

今年度は、30名(看護師28名、助産師2名)の新採用看護師職員が入職しました。

4月2日から9日までの6日間、採用時研修を行いました。はじめは緊張した面持ちだった新人看護師たちも、研修を重ねることに笑顔が見られていました。配属発表後は、集合研修で学んだことを、それぞれの部署で実践し、本院の医療チームの一員としての自覚と責任が日に日に感じられています。

今度も、研修と実践とを積み重ねながら看護の心と技を磨き、一人ひとりの患者さんにとって最善の看護が提供できる看護師を目指して頑張っています。



▲院内研修:急変対応



▲看護部長からの辞令交付

看護の日のイベント

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日を「看護の日」として、1990年から全国で看護に関する紹介など様々な取り組みが行われています。

本院でも5月11日(金)10:30~13:30に旧総合外来カウンタ前廊下でイベントを行いました。今年のテーマは、「生きるを、ともに、つくる」でした。そこで、在宅医療に焦点を当てて、イベントを企画し実施しました。在宅支援に関するポスターや認知症を早期発見するための質問紙を掲示し、多くの方に関心を持っていただきました。

また、今回は新たな取り組みとして手洗いのチェックを専用の器械(グリッターバグ)を用いて行いました。普段の手洗いでどの程度汚れが残っているかをチェックするもので、参加した方の多くが「これまでの手洗いが不十分であった」と日ごろの手洗いを直すきっかけになったと思います。

さらに、昨年と同様に「管理栄養士による栄養相談」を行い、自身や家族の病気に応じた食事についての相談が多く寄せられ好評でした。外来患者さんをはじめ、そのご家族や入院患者さんなど207名の方に参加をしていただきました。



▲管理栄養士による栄養相談



▲看護の日のイベント



▲新人看護師として元気に頑張っています!!

連携病院紹介

正島脳神経外科病院

【病院の紹介】

当院は、昭和62年6月3日、当時の佐賀医科大学の玄関口である鍋島一丁目正島脳神経外科病院を開院しました。その頃、医院の周囲は田んぼばかりで、開院初日の来院患者数は何と7名でその内4名は父をはじめとする親戚という具合で、折角弟(副院長)と二人で開業したものの、こんな状態をやっているのか不安を覚えたことを今でも鮮明に覚えております。

おかげさまで、その後、少しずつ来院して下さる患者様も増え、開院の翌年には病床を増設し病院として現在に至ることができました。

現在、開設して31年経ちましたが、まだ脳動脈瘤根治術、良性腫瘍の剥出術、脊髄・脊髄手術等の大手術も行っております。これからも地域医療にお役に立てることが出来ればと思っておりますので宜しくお願いいたします。

【本院との連携の状況】

佐賀大学医学部附属病院とは、当院の開設当初より初代教授田淵先生に開院パーティのご祝辞を賜り、その後におきまして公私両面にご助力をいただきました。

二代目の松島先生、現在の阿部先生にも同様

文化コーナー作品(俳句・川柳)募集のお知らせ

本院広報委員会では、俳句・川柳を募集しています。優秀作品は3月発行の「病院ニュース」に掲載する予定ですので、皆様奮ってご応募ください。

詳細は外来ロビーの掲示板及び本院ホームページをご覧ください。

【応募締切】

平成31年2月8日(金)

【応募・お問い合わせ先】

佐賀大学医学部総務課
(研究・評価主担当)

TEL: 0952-34-3354

E-mail: khyouka@mail.

admin.saga-u.ac.jp



▶院内学級の児童生徒による作品「お気に入り」



院長 正島 隆夫

のご助力をいただき、医局の先生方をはじめ、神経内科の先生方にも当院患者様の診察、治療の支援等、多大なご助力を賜っております。この場をかりまして心より感謝を申し上げます。最後に私事ではありますが、私の急性心筋梗塞、副院長の急性胆のう炎の際、夜中にも関わらず緊急手術をしていただき、おかげさまで現在も健康で働くことができいております。本当にありがとうございます。

今度も、地域に根付いた医療を行ってまいりたいと思っておりますので、ご指導、ご支援等、宜しくお願いいたします。

